



2018年2月13日

南アの鉱業憲章改正をめぐる政府と鉱業界の和解は実現するか

公益財団法人 国際通貨研究所
経済調査部 研究員 潮田玲子

南アフリカ（以下、南ア）で2017年12月18日、与党アフリカ民族会議（ANC）の党首選（事実上の大統領選）が行われ、現職ズマ大統領の元妻でアフリカ連合（AU）の委員長や閣僚を務めたドラミニ・ズマ氏との一騎打ちの末、ラマポーザ副大統領が僅差で勝利した。この結果、次期大統領候補とされてきたラマポーザ氏の存在感が高まった。

党首選の結果は市場で好感された。ラマポーザ氏は産業界や労働組合からの信頼が厚く、実業家・元労働組合員としてのネットワークを活用した投資の促進や雇用の創出など、経済および産業の立て直しに向けた政策実施への期待が高い。党首選が行われた党大会期間中は、現閣僚によって経済の問題点や今後の方針が議論され、農産物加工業の開発や小規模事業を促す法律が提案された。ラマポーザ氏自身も経済特区の設立、税改革、若者雇用スキームの大規模化など様々な経済改善策を提示した。

そうした政策の1つに「鉱業界との和解」が掲げられた。これは、南アの主要産業である鉱業部門の規定である「鉱業憲章」の見直しを指す。

鉱業憲章とは、アパルトヘイト時代に不利益を受けてきた南アの黒人の経済力の向上を目指し、政府がBEE政策（黒人経済力強化政策）¹の1つとして2002年に導入したものである。南アは輸出額の半分以上を鉱物や金属が占める資源大国で、とくにプラチナは世界第1位の供給量を誇る（2017年）が、その重要な鉱業部門における権益のあり方を左右するのが鉱業憲章である。2010年の改正を経て、2016年4月にズワネ鉱物資源相が黒人に対するさらなる鉱山権益の移行のため、2回目の改正案を発表した。

2016年の改正案の内容は鉱業権や炭鉱権の黒人保有率の拡大、南ア企業からの鉱業資材などの調達率の引き上げ、黒人採用率の引き上げなどである。ズマ大統領は深刻な失業率に対する改善策として支持したものの、同案が発表されるまでの過程で鉱業関係者との十分な議論がされなかったことから、鉱業界からの反発を招いた。2017年6月、鉱業資源省は改正案を強引に施行しようとしたが、鉱業会議所が強く反対し施行の差し

¹ Black Economic Empowerment の略。アパルトヘイト時代に不平等な扱いを受けてきた黒人、カラード、インド系人種への差別を是正し、彼らの経済的地位の向上を目的とした、南ア独特の政策。

止めを求めて法廷闘争にもちこんだため、今もなお対立が続いている。政府は判決が下るまで、改正案施行の延期を決定した。鉱業憲章に関する公聴会は、2018年2月19日より3日間にわたって開催される予定である。

鉱業会議所をはじめ鉱業界は、改正案は経営の自由度を低下させ、鉱業部門全体の成長を阻害すると反対してきた。売上高の1%を黒人の株主に優先的に分配するという配当案に関しては、その他の株主への配当可能金額がほぼなくなる計算となるため²、投資資金の減少や外資の撤退により、皮肉にも雇用を減少させることが懸念される。

ラマポーザ氏も鉱業会議所と同様に改正内容に異を唱えつつ、政府と鉱業界との隔たりの早急な解決が重要と述べ、実際2018年1月25日のダボス会議にて、解決に向けて前進することを表明した。これまで鉱業資源省と鉱業会議所の対立を緩和させようと動いていたギガバ財務相は、ラマポーザ氏の意思を強く支持した。一方、ズワネ鉱物資源相は、2月5日のアフリカ鉱業投資会議（アフリカ・インダバ2018）³の開会スピーチで参加者が期待したような南ア鉱業界の問題点または鉱業憲章の改正案施行への道筋について一切触れず、ラマポーザ氏の前向きな姿勢との温度差が目立った。

ズワネ鉱物資源相との対話を拒否してきた鉱業会議所は、6日、ラマポーザ氏および各省庁を含めた対話に意欲を示した。ラマポーザ氏による鉱業憲章の適切な見直しに向けた高い政治的手腕が求められている。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

² 2017年7月19日JETRO「鉱業憲章の改正、業界の反発で一時停止に—黒人優遇の促進で鉱業ビジネスに暗雲—」によると、このケースでは分配のベースとなるのは利益でなく、売上高である。配当可能金額の計算を含め詳細は以下のウェブサイトを参照のこと。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2017/07/61236e503129a224.html>

³ African Mining Indaba 2018。アフリカ含め世界各国の鉱山・炭鉱企業、投資家、金融機関、弁護士などの鉱業関係者が参加する世界最大規模のアフリカ鉱業投資会議。